

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	医療機能情報集約システム経費	事業開始年度	平成20年度	作成責任者		
担当部局庁	医政局	担当課室	総務課	総務課長 岩淵		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算補助	関係する計画、通知等	医療機能情報集約システムに係る医療機能情報の提供について(平成21年3月10日付け事務連絡)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国において、人口の少子・高齢化などの医療ニーズの多様化・高度化や医師の偏在等の重要課題に対応する必要があることから、医療機能情報提供制度により各都道府県に集約された病院等情報をデータベース化(情報の蓄積)及び分析・比較等を実施し、政策の企画立案を目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	病院等から各都道府県に提出された医療機能情報について、各都道府県から厚生労働省に電子媒体で提出させ、当該情報を集約し、データベース化する。					
実施状況	医療機能情報について順次システムへの取り込みを行っているところである。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)		23	12	12	12
	執行額		21	12		
	執行率		92.6%	96.9%		
	総事業費(執行ベース)		21	12		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	当該システムの開発・保守及び機器等賃貸借に関し一般競争入札を経て富士通株式会社及び東京センチュリーリース株式会社(当時:センチュリー・リーシング・システム株式会社)と5年間の契約を締結している。				
	見直しの余地	各都道府県で公表されている医療機能情報については、各都道府県が各々にその情報をデータベースシステム及びデータファイルで保有している。これらのデータ形式は様々であるため、現在、集約データの徴求範囲・取扱方法、データ変換方等について業者を交え見直しの検討を行っているところであり、検討結果を踏まえ今後の方針を決定することとしている。				
予算監視の所見率化	本事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記						

厚生労働省
12百万円

【一般競争入札】

A. 富士通(株)
11百万円

システム保守

【一般競争入札】

B. 東京センチュリーリース(株)
1百万円

機器等賃貸借

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.富士通株			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
保守費用	システム保守	11			
計		11	計		0
B.東京センチュリーリース株			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
機器等賃借料	パソコン、プリンタ等賃貸借	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0